6章 シニアの生活実態とICT利用

1節 ICT端末所有概況

端末所有状況，スマートフォン所有のきっかけ，相談相手，調べ方

ポイント

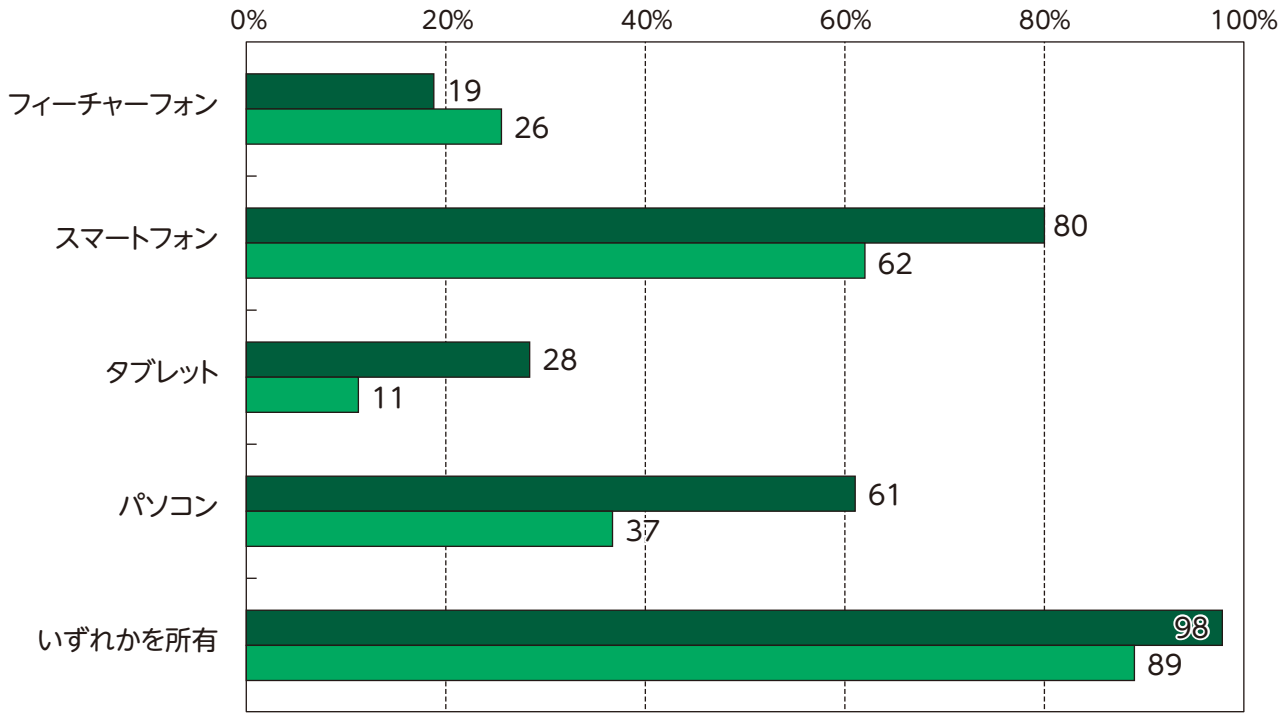
- 60代のスマートフォン所有率は約8割，70代は約6割（資料6-1，資料6-3）。
- 「スマートフォン」の所有状況は「正規職員」「自営業」「パート・アルバイト」「専業主夫・主婦」で7割超え（資料6-4）。
- スマートフォン所有のきっかけは男女ともに「家族のすすめ」「周囲にスマホを持っている人が増えた」が多い（資料6-5）。

[資料6-1] ICT端末所有状況[年代別] …… 105
[資料6-2] 所有しているICT端末の組み合わせ[性年代別] …… 106
[資料6-3] スマホ・ケータイ所有率の年次推移[年代別] …… 107
[資料6-4] ICT端末所有状況[就業状況別] …… 108
[資料6-5] スマートフォンを所有したきっかけ [性別(男女別)](複数回答) …… 109
[資料6-6] スマートフォンを所有したきっかけ[スマホ所有歴別](複数回答) …… 110
[資料6-7] スマートフォンを使いこなすための相談相手[性別(男女別)](複数回答) …… 111
[資料6-8] 身近な人に聞く以外のスマートフォンの操作方法の調べ方[性別(男女別)](複数回答) …… 112

6章1節
資料6-1

ICT端末所有状況[年代別]

- 約9割以上の60～70代がいずれかのICT端末を所有。
- スマートフォン所有率は，60代が約8割，70代が約6割。

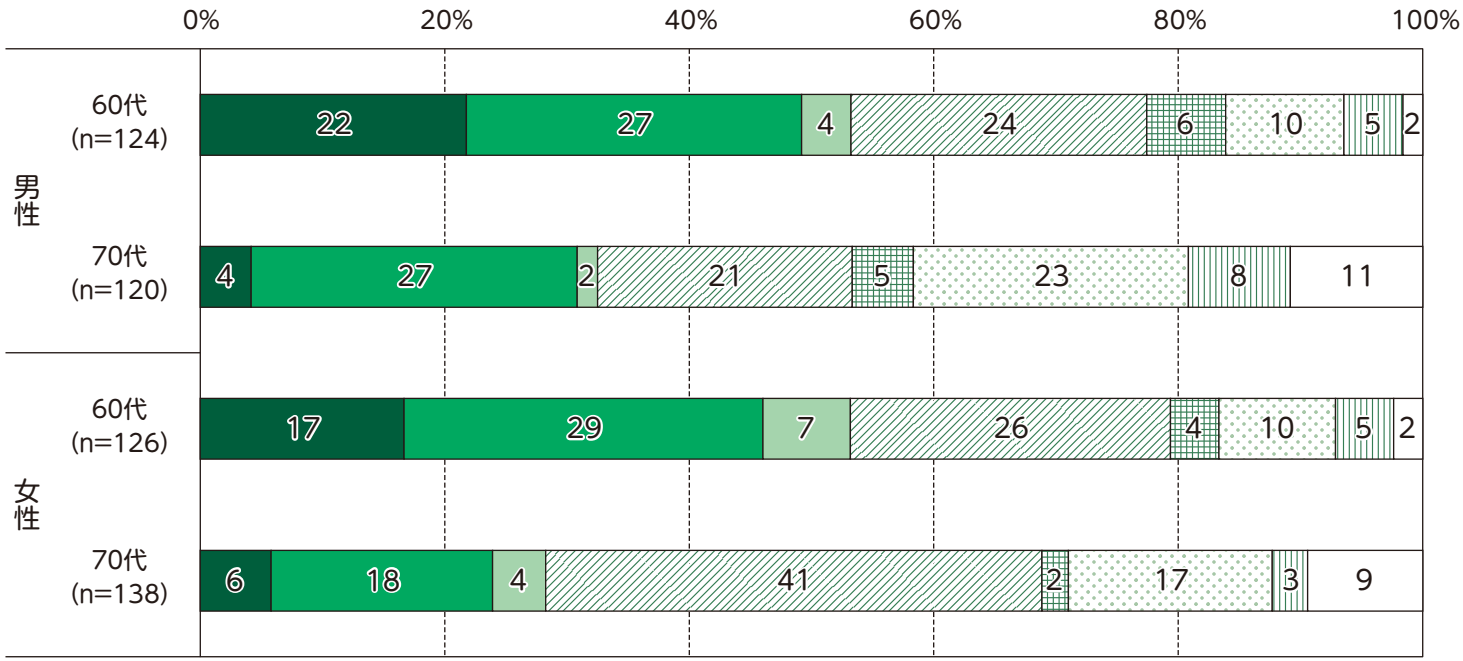


注:「タブレット」「パソコン」は家族で共有で所有している機器も含む。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-2

所有しているICT端末の組み合わせ[性年代別]

- 60代の男性女性，70代男性は「スマートフォンとパソコン」の組み合わせが最も高い。
- 70代女性は「スマートフォンのみ」の層が最も多い。

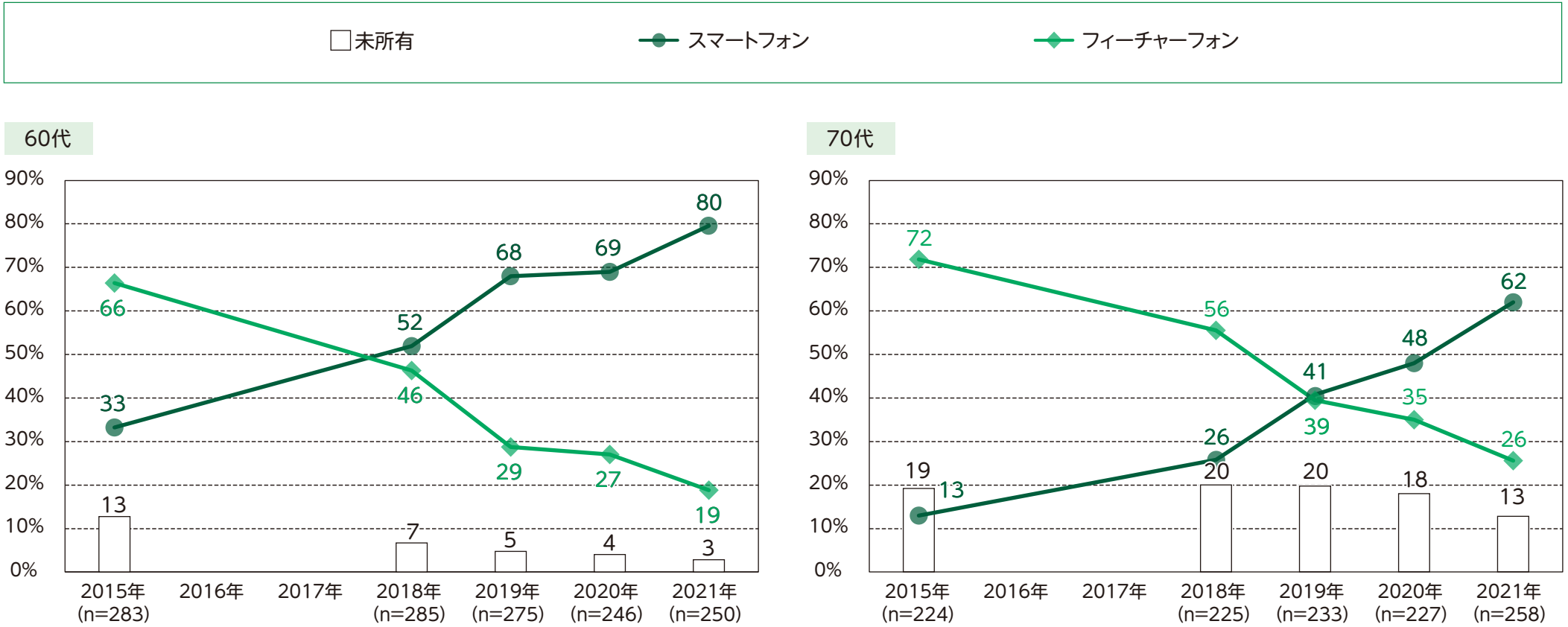


注:「パソコン」「タブレット」は家族で共有して所有している機器も含む。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-3

スマホ・ケータイ所有率の年次推移[年代別]

● 2021年には70代のスマートフォン所有率が約6割，60代のスマートフォン所有率が約8割に拡大。

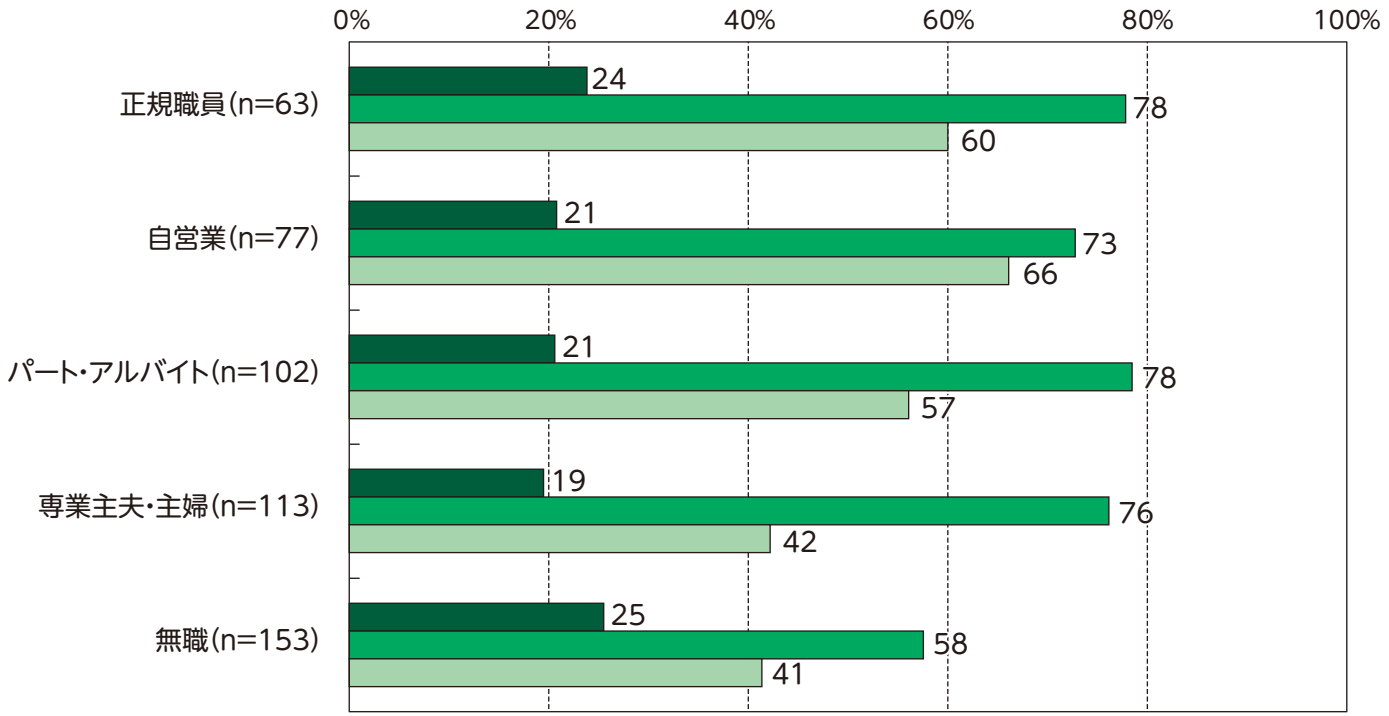


注1: 2016年，2017年は調査未実施。
注2: 2015年の「スマートフォン」はタブレット所有を含み集計。
注3: 2018年は家族で共有して所有している端末を含み集計。
出典: 2015年シニアの生活実態調査(訪問留置)
2018年-2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-4

ICT端末所有状況[就業状況別]

- 「フィーチャーフォン」の所有状況は，就業状況による差が小さい。
- 「スマートフォン」の所有状況は「正規職員」「自営業」「パート・アルバイト」「専業主夫・主婦」で7割超え。
- 「パソコン」の所有状況は「正規職員」「自営業」で6割超え。

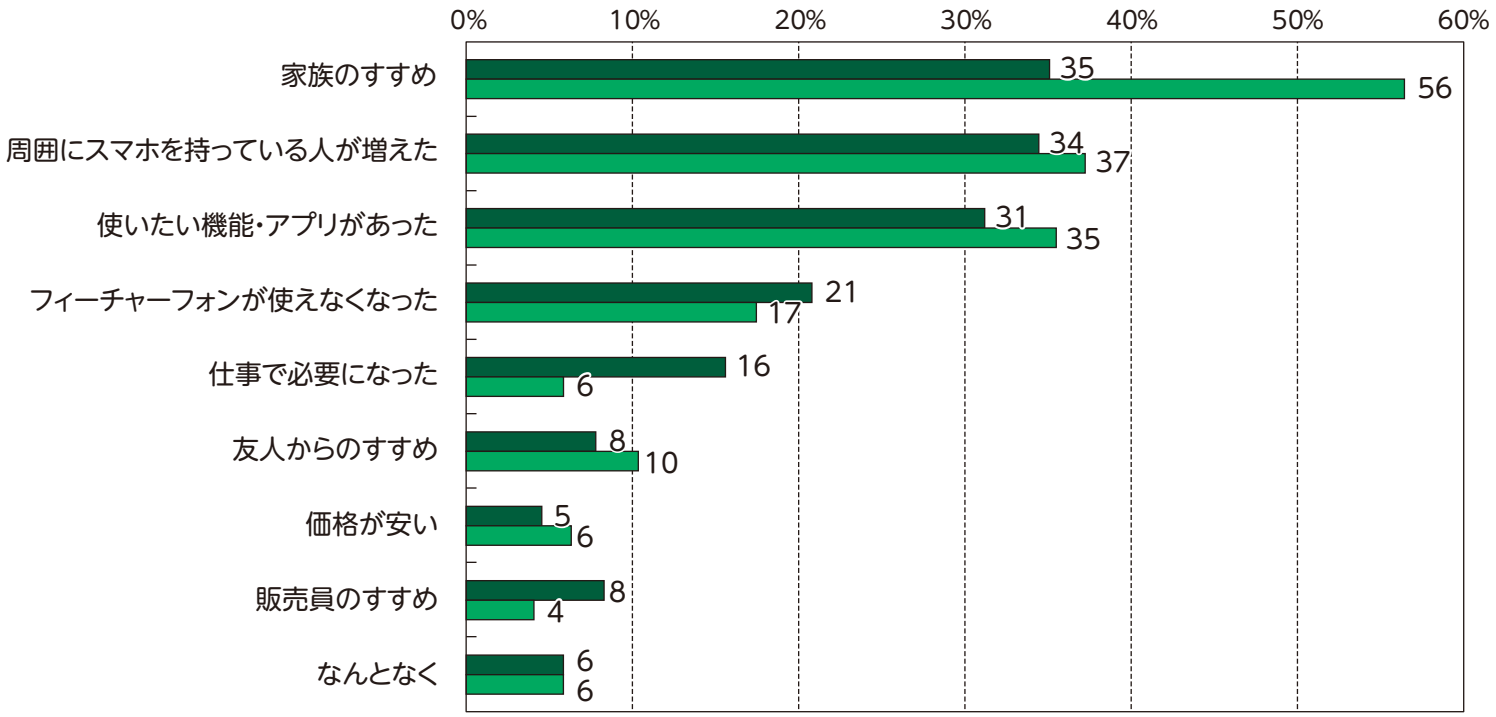


注:「パソコン」は家族と共有して所有しているものを含む。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-5

スマートフォンを所有したきっかけ[性別(男女別)](複数回答)

- 最も高い所有きっかけは，男女ともに「家族のすすめ」次いで「周囲にスマホを持っている人が増えた」であった。
- 「家族のすすめ」は，特に女性が多い傾向。

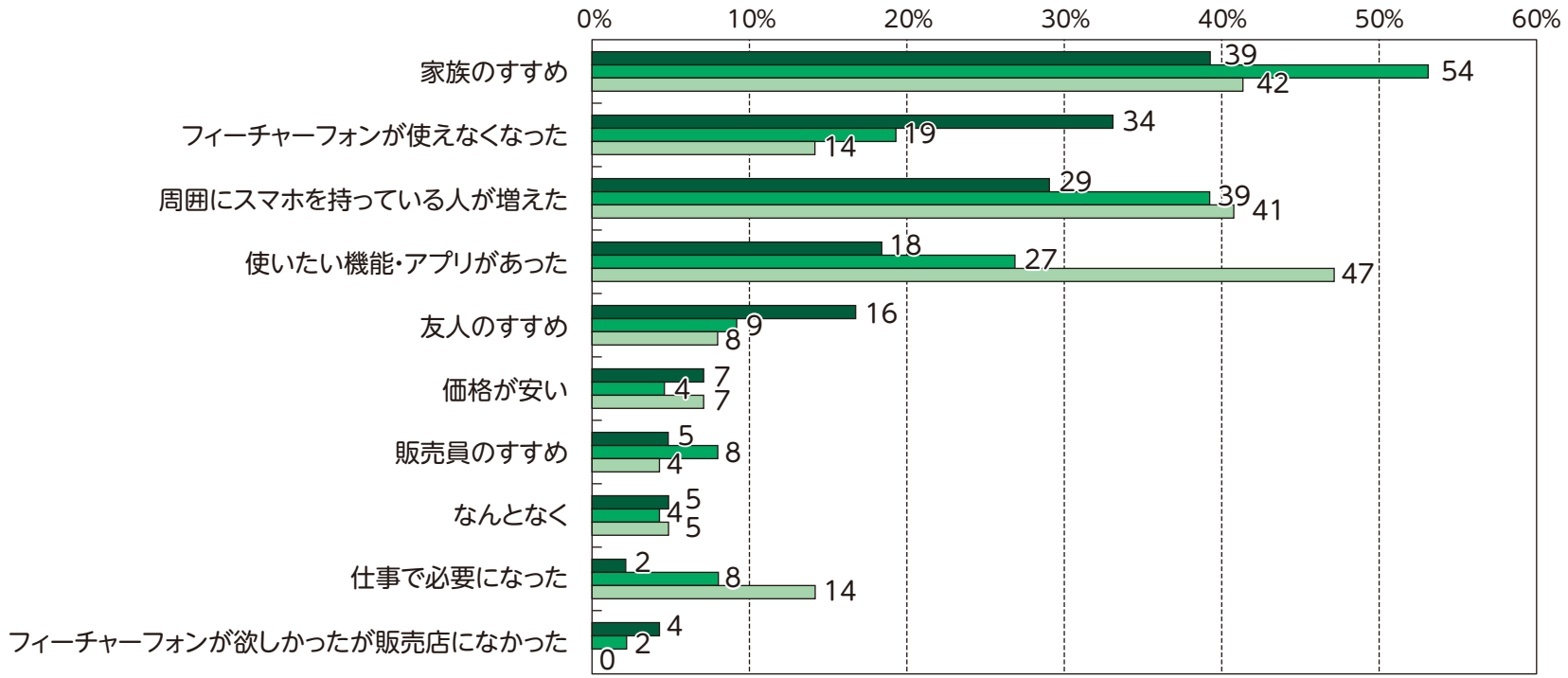


注: スマートフォン所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-6

スマートフォンを所有したきっかけ[スマホ所有歴別](複数回答)

- 「スマホ所有歴2年未満」のグループでは「家族のすすめ」が最も多い。
- 「スマホ所有歴2年～5年」のグループでは，「家族のすすめ」に加え「周囲にスマホを持っている人が増えた」が多い傾向。
- 「スマホ所有歴5年以上」のグループでは，他のグループと比べ「使いたい機能・アプリがあった」が高い傾向。

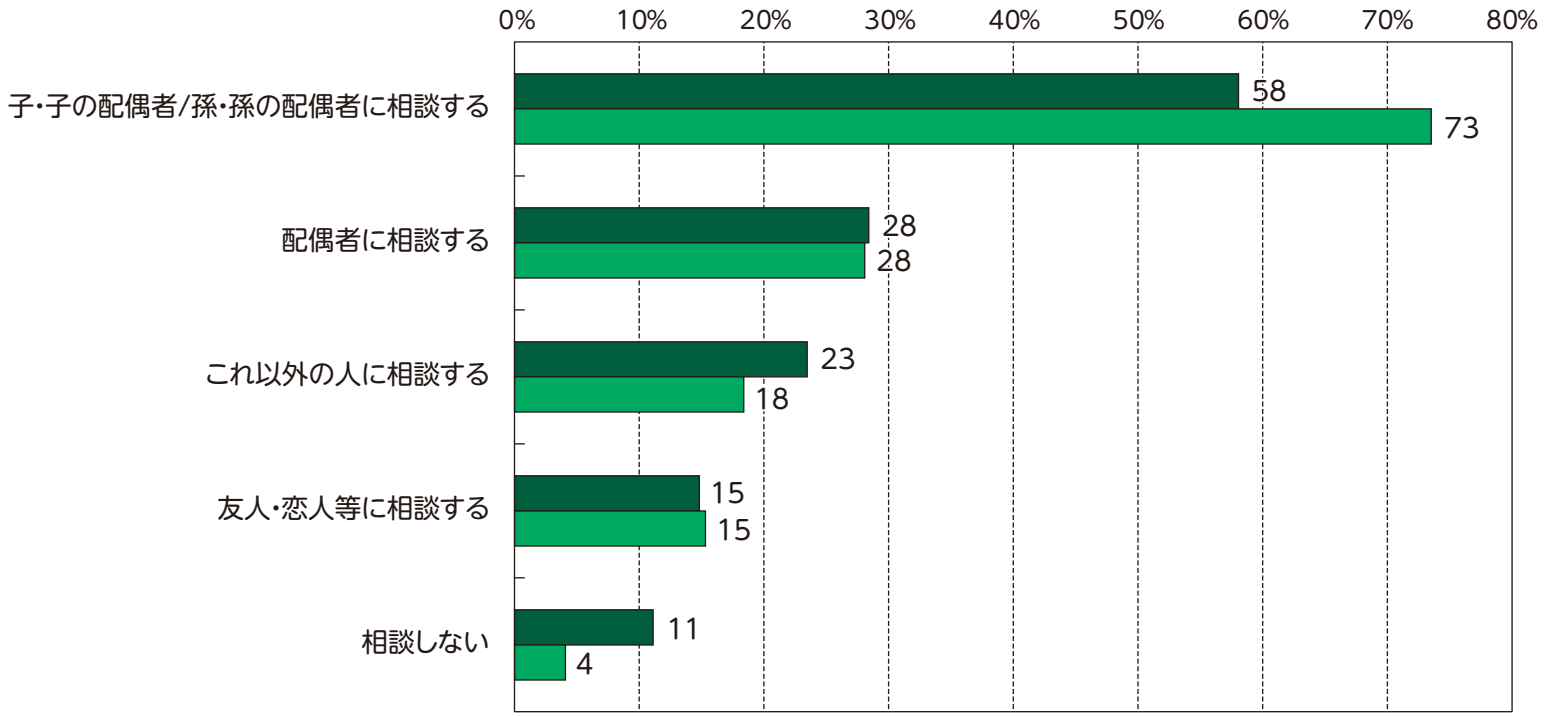


注: スマートフォン所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-7

スマートフォンを使いこなすための相談相手[性別(男女別)](複数回答)

● 「子や子の配偶者，孫や孫の配偶者に相談する」が，男女ともに一番大きい。

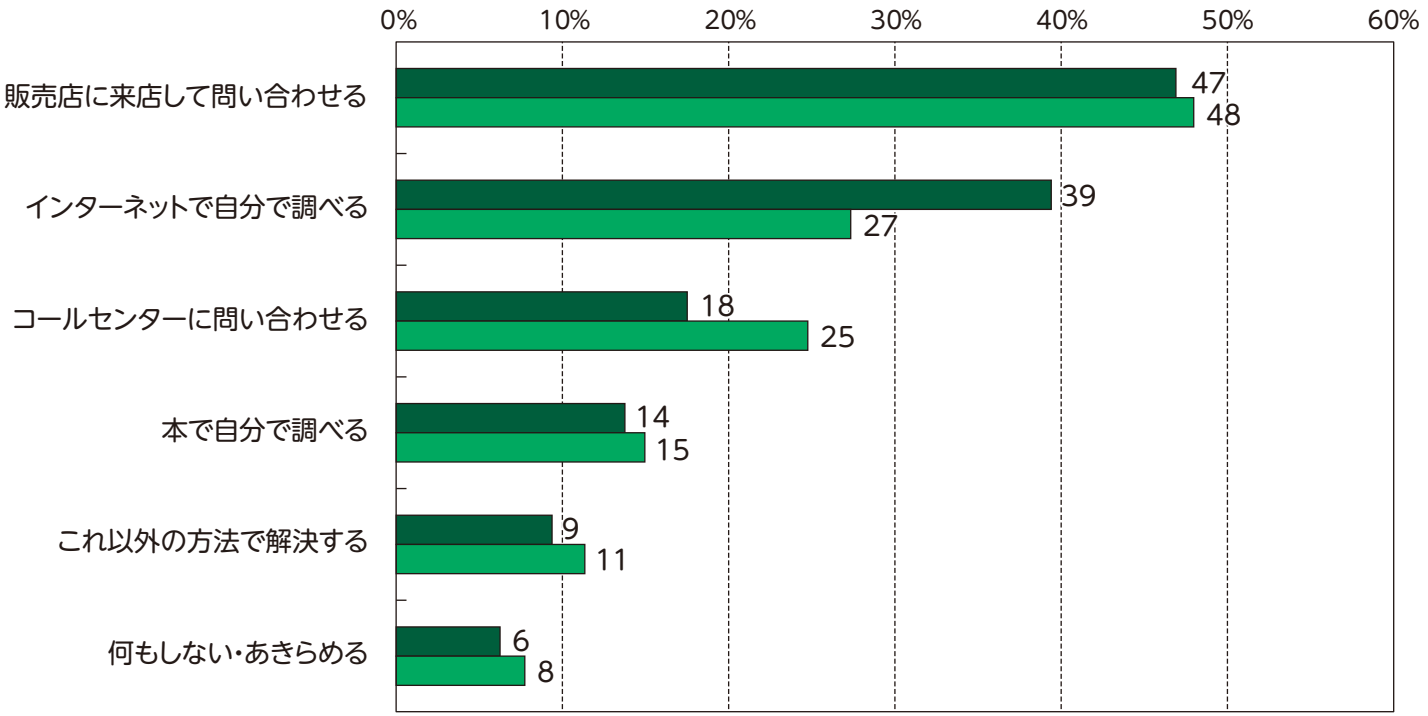


注: スマートフォン所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章1節
資料6-8

身近な人に聞く以外のスマートフォンの操作方法の調べ方[性別(男女別)](複数回答)

- 「販売店に来店して問い合わせる」割合が男女ともに一番高い。
- 男性の場合は「インターネットで自分で調べる」という，自力で調べようとする層が他に比べて高い。



注: スマートフォン所有者が回答。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章 シニアの生活実態とICT利用

2節 コミュニケーションとICTサービス利用

連絡手段，ICTサービス利用率

ポイント

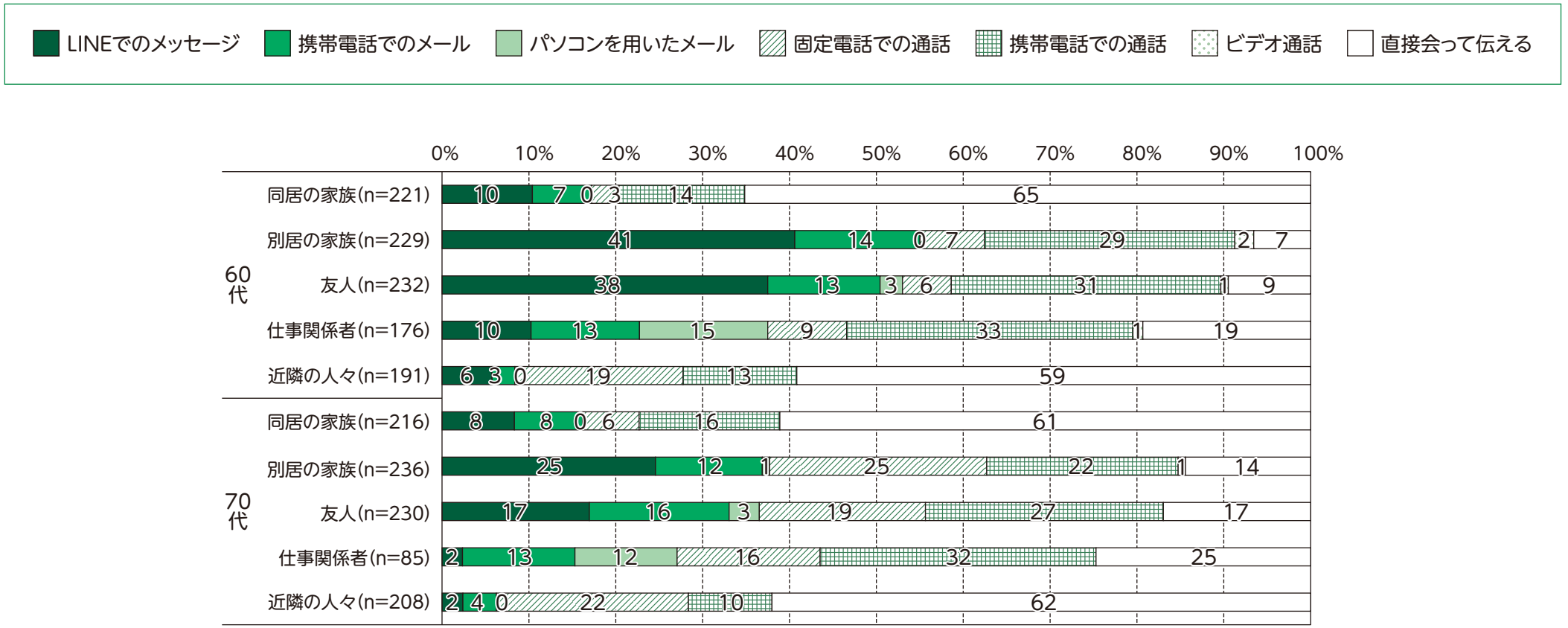
- 60代が別居家族へ連絡する際には「LINEでのメッセージ」が最も多く使われ，70代は「固定電話での通話」も多用されている(資料6-9)。
- 60代が別居家族と連絡を取る手段は，LINEが年々増加し5割を超えた(資料6-10)。
- 「情報の検索」「電子メール」「乗換案内・ナビゲーション」の利用率が5割を超える(資料6-12)。

[資料6-9] 最も多く使う連絡手段[連絡相手別・年代別] …… 114
[資料6-10] 別居家族との連絡手段の年次推移[60代](複数回答) …… 115
[資料6-11] 別居家族との連絡手段の年次推移[70代](複数回答) …… 116
[資料6-12] ICTサービスの利用率(複数回答) …… 117

6章2節
資料6-9

最も多く使う連絡手段[連絡相手別・年代別]

- 60代が別居家族へ連絡する際には「LINEでのメッセージ」が最も多く使われている。
- 60代は固定電話の利用は少ないが，70代は固定電話での通話も比較的多く使われている。

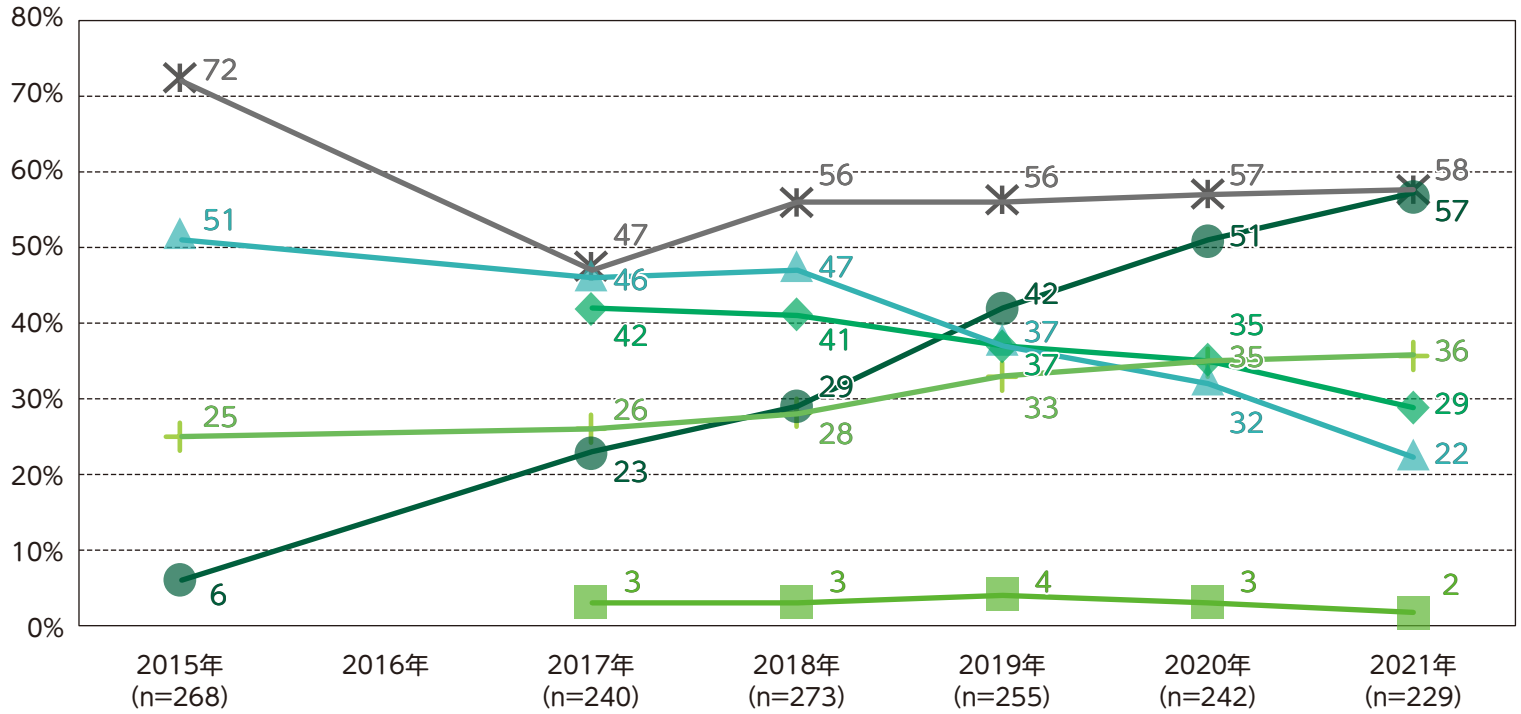


出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章2節
資料6-10

別居家族との連絡手段の年次推移[60代](複数回答)

● 60代が別居家族と連絡を取る手段は，LINEが年々増加し5割を超えた。

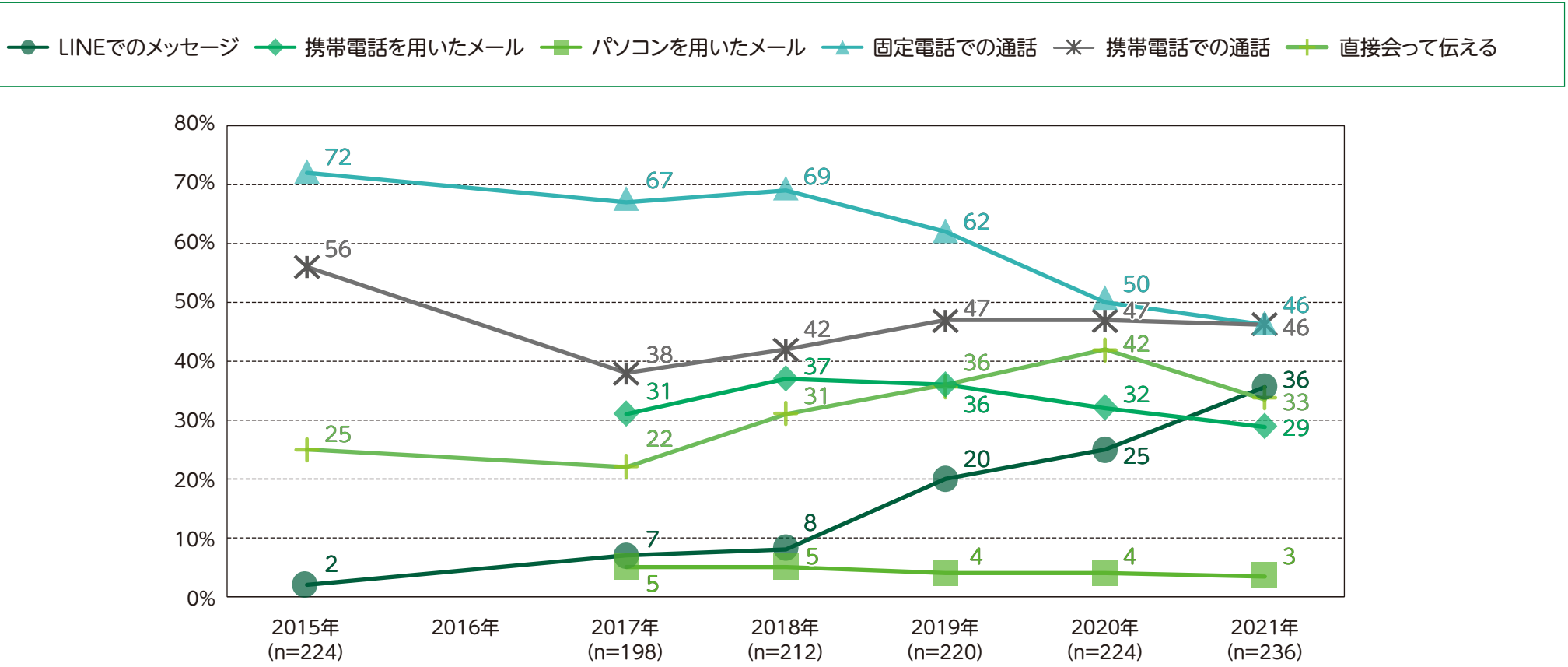


注1: 2015年の「LINEでのメッセージ」は，「SNS(Facebook，LINEなど)」という文言で調査をしている。
注2: 2016年は調査未実施。
出典: 2015年シニアの生活実態調査(訪問留置)
2017年-2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章2節
資料6-11

別居家族との連絡手段の年次推移[70代](複数回答)

- 60代同様，70代においてもLINEで連絡を取る割合が伸びている。
- コロナの影響か，伸び続けていた「直接会って伝える」が減少。

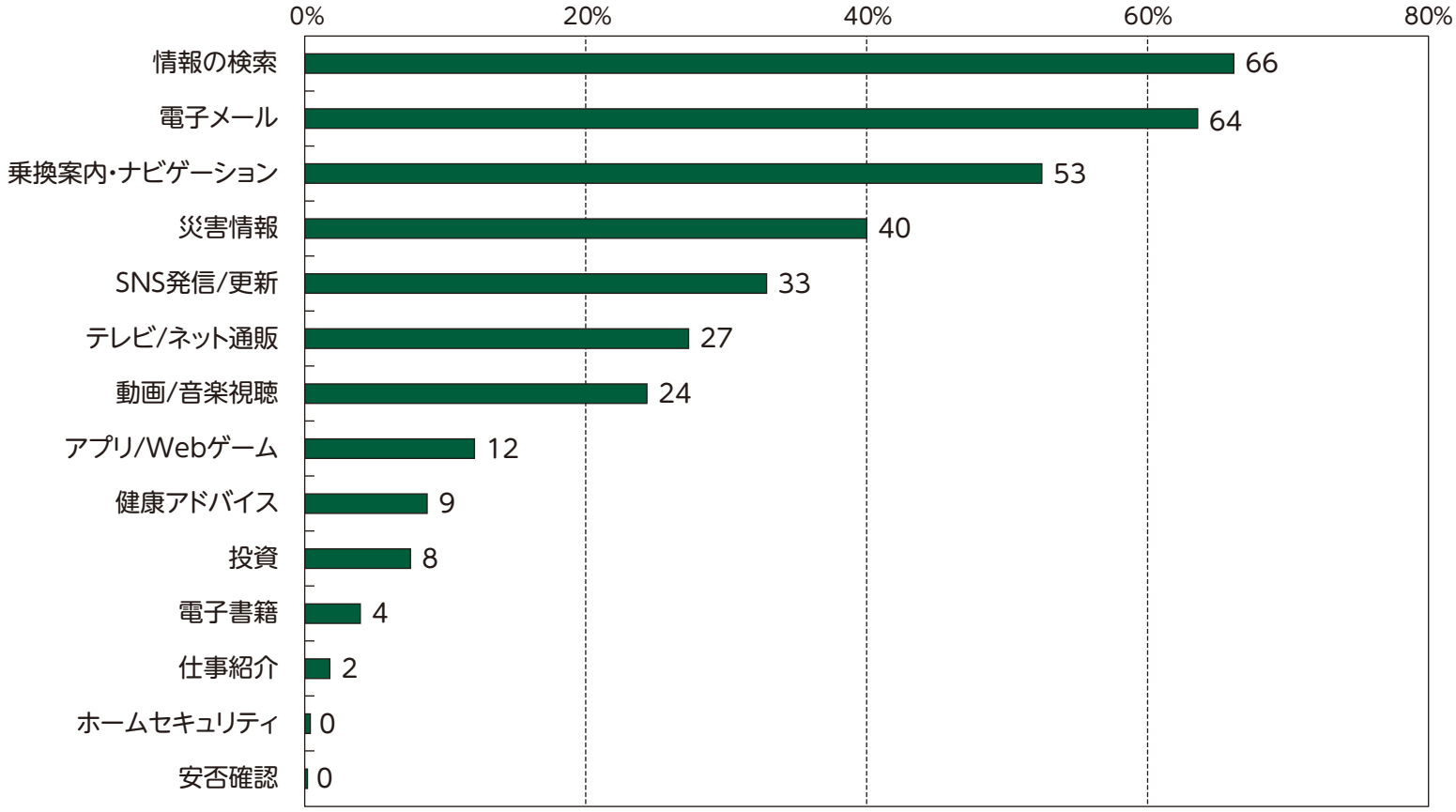


注1: 2015年の「LINEでのメッセージ」は，「SNS(Facebook，LINEなど)」という文言で調査をしている。
注2: 2016年は調査未実施。
出典: 2015年シニアの生活実態調査(訪問留置)
2017年-2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章2節
資料6-12

ICTサービスの利用率(複数回答)

● 「情報の検索」「電子メール」「乗換案内・ナビゲーション」の利用率が5割を超える。



(n=504)

注1:「安否確認」は，人が倒れた・人の動きがない等の異常時に警備員がかけつけ，安否を確認できるサービス。
注2:「ホームセキュリティ」は，外出時などに自宅の家電のスイッチや鍵の開け閉め等を確認できるサービス。
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章 シニアの生活実態とICT利用

3節 シニアの生活の実態とICT利用

日々の活動実施率，利用する店舗，インターネットショッピング利用

ポイント

- 日々の活動が活発なシニアほどスマートフォン所有率が高い（資料6-16）。
- 月1回以上インターネットで買い物をしているという割合は，2割程度（資料6-17）。
- スマホ・ケータイを利用して4割超のシニアが人との交流が密になったと回答（資料6-20）。

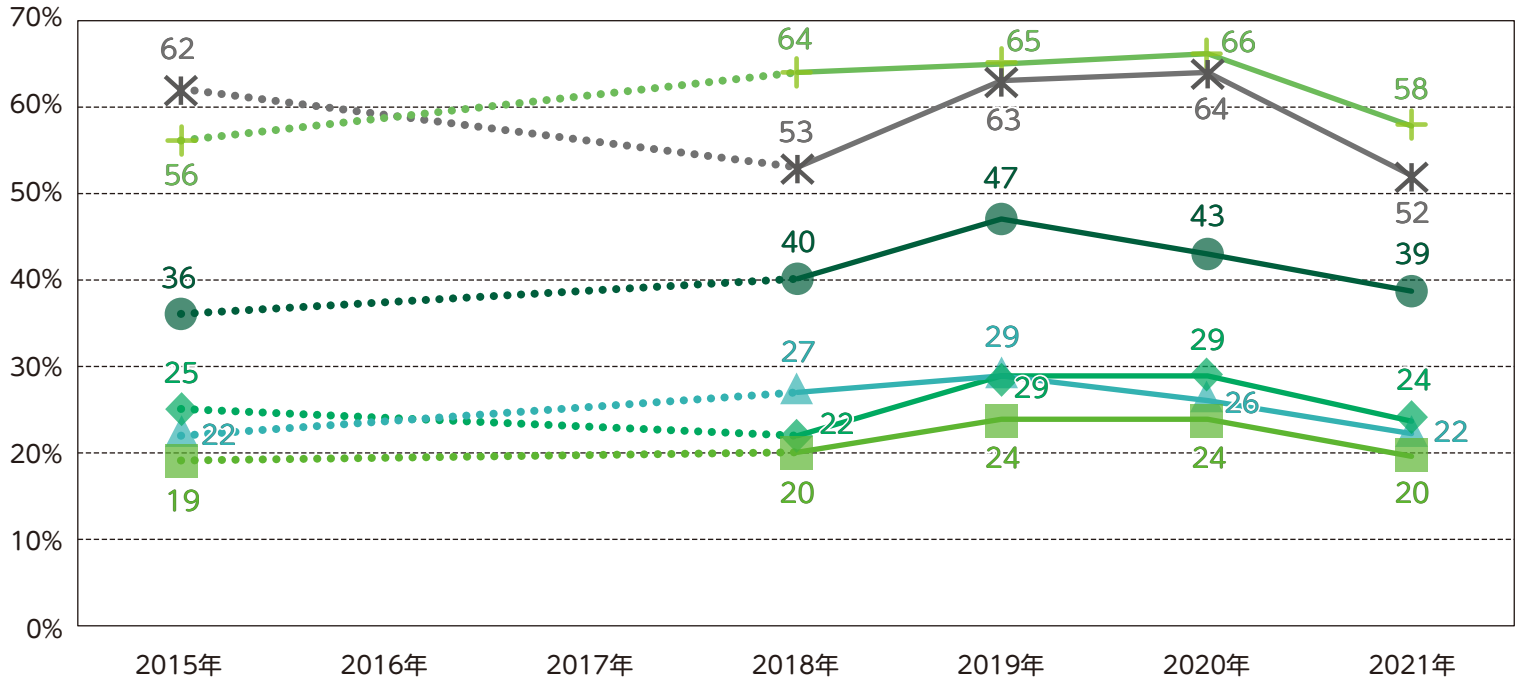
[資料6-13] 日々の活動実施率の年次推移（単一回答） …… 119
[資料6-14] 日々の活動の回答傾向によるグループわけ（単一回答） …… 120
[資料6-15] 日々の活動グループの特性（単一回答） …… 121
[資料6-16] 日々の活動グループ別スマホ・ケータイ所有（単一回答） …… 122
[資料6-17] 利用する店舗と頻度[利用頻度別]（単一回答） …… 123
[資料6-18] 利用する店舗と頻度[性年代別]（単一回答） …… 124
[資料6-19] インターネットショッピング利用と経済的・時間的ゆとりの関係（単一回答） …… 125
[資料6-20] スマホ・ケータイを利用しての人とのつながり（単一回答） …… 126

6章3節

資料6-13

日々の活動実施率の年次推移(単一回答)

● 2021年はコロナの影響もあり，全項目で2020年調査を下回る。



注: 2016年，2017年は調査未実施。
出典: 2015年アクティブシニアのICT利用生活調査(訪問留置)
2018年-2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節
資料6-14

日々の活動の回答傾向によるグループわけ(単一回答)

● 日々の活動の回答をもとに，シニアをグループわけすると，すべての活動に積極的な「積極派」，人との交流と地域活動が盛んな「地域で活躍」，人との交流と教室活動が盛んな「教室でいきいき」，人との交流が盛んな「仲間家族中心」，すべての活動に消極的な「消極派」にわけることができた。

グループ		積極派	地域で活躍	教室でいきいき	仲間家族中心	消極派
日々の活動	地域活動	○	○	×	×	×
	教室活動	○	×	○	×	×
	人との交流	○	○	○	○	×

出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節

資料6-15

日々の活動グループの特性(単一回答)

- 「積極派」は70代女性の割合が高く，経済的・時間的ゆとりがあり，無職の割合が高い。
- 「地域で活躍」は60代男性の割合が高く，経済的ゆとりがあり，有職者が多い。
- 「教室でいきいき」は女性の割合が高く，経済的ゆとりが高い。
- 「仲間家族中心」は各種項目が平均的なシニア。
- 「消極派」は男性の割合が高く，経済的ゆとりが低い。

グループ	積極派	地域で活躍	教室でいきいき	仲間家族中心	消極派	平均
60代：70代	36：64	58：42	49：51	54：46	47：53	49：51
男性：女性	38：62	57：43	27：77	51：49	56：44	48：52
経済的ゆとりがある	67%	65%	68%	60%	44%	57%
時間的ゆとりがある	92%	77%	86%	83%	75%	81%
有職率	28%	60%	48%	52%	47%	48%

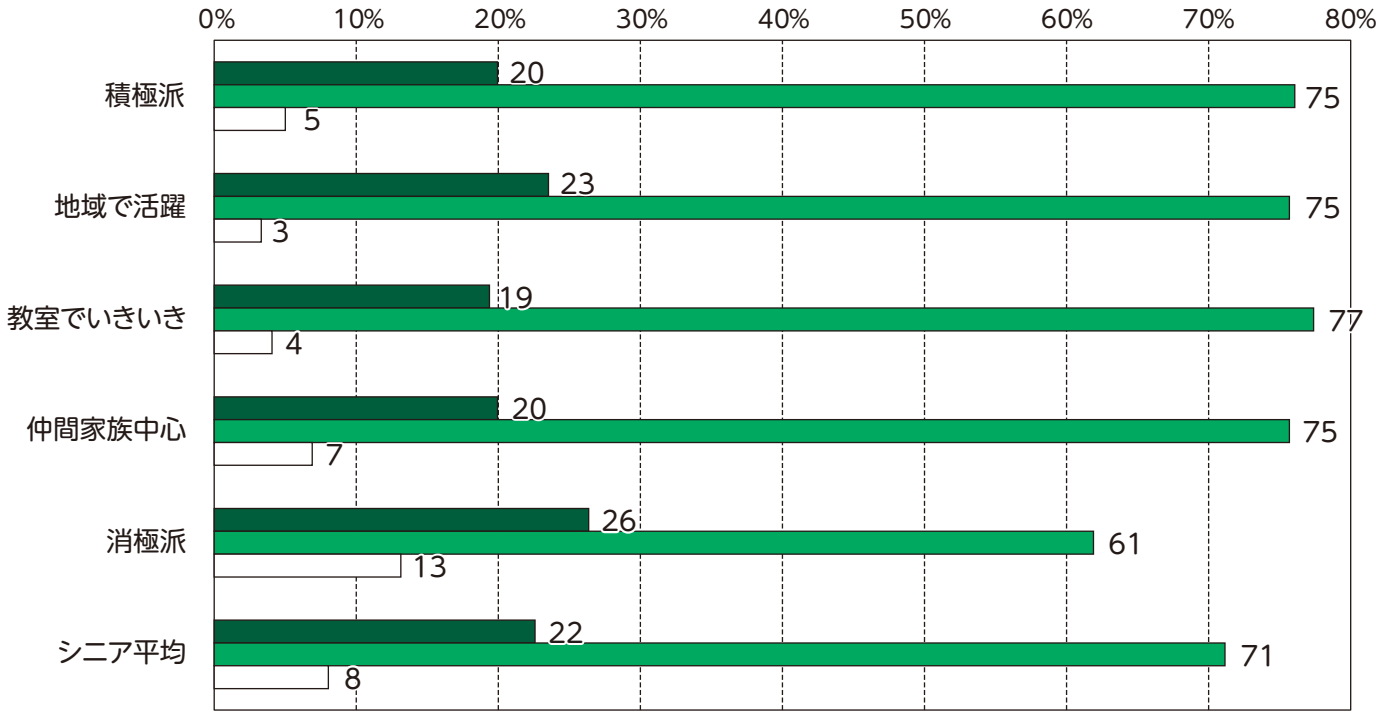
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節

資料6-16

日々の活動グループ別スマホ・ケータイ所有(単一回答)

- 日々の活動が活発なシニア「積極派」「地域で活躍」「教室でいきいき」「仲間家族中心」のスマートフォン所有率は75%前後，スマートフォンとケータイどちらとも所有していない人は1割未満。
- 日々の活動が活発ではないシニア「消極派」のスマートフォン所有率は6割と平均を下回り，スマホ・ケータイのどちらも所有していない人は13%と他のグループと比較して高い。

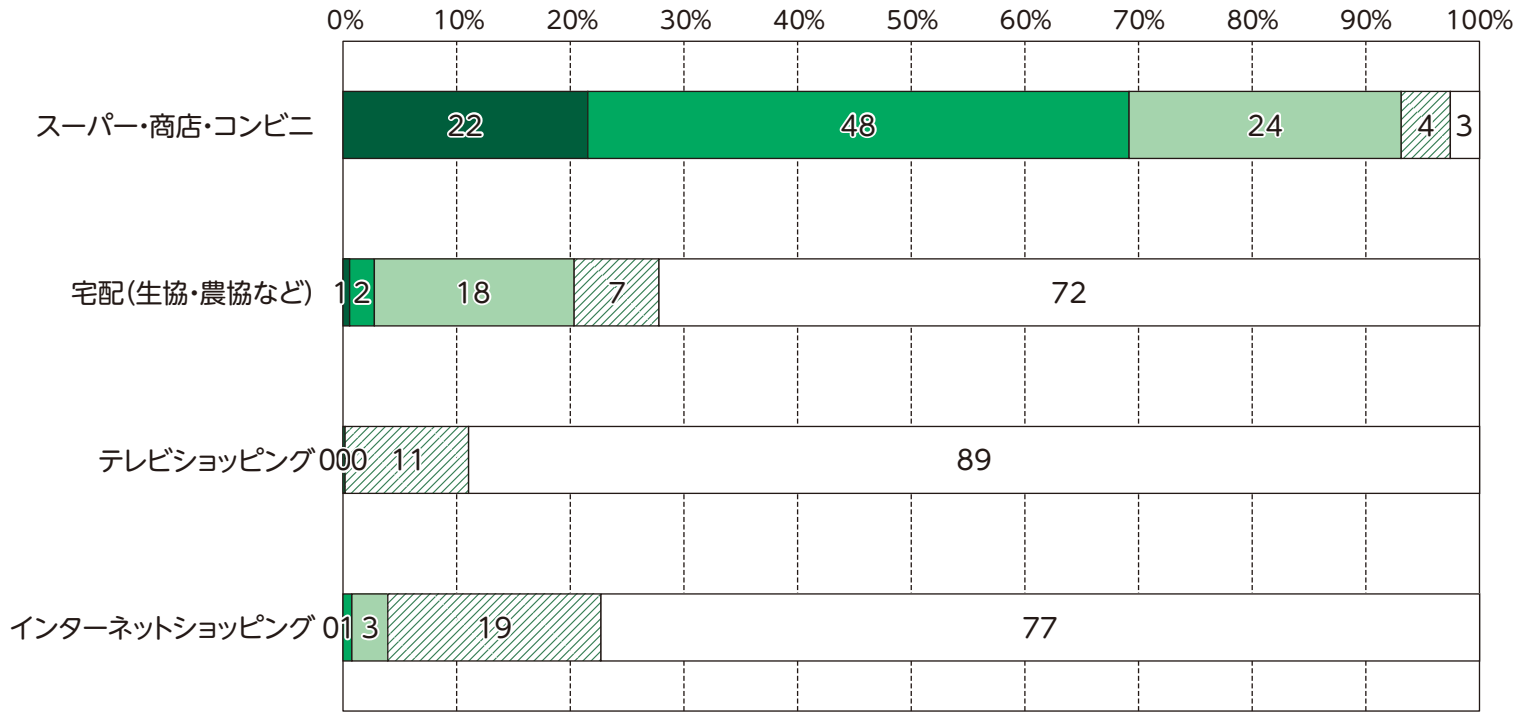


出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節
資料6-17

利用する店舗と頻度[利用頻度別](単一回答)

- 週1回以上の日常の買い物は，「スーパー・商店・コンビニ」などの実店舗の利用が，9割を超えている。
- 月1回以上「インターネットショッピング」の割合も，2割程度。

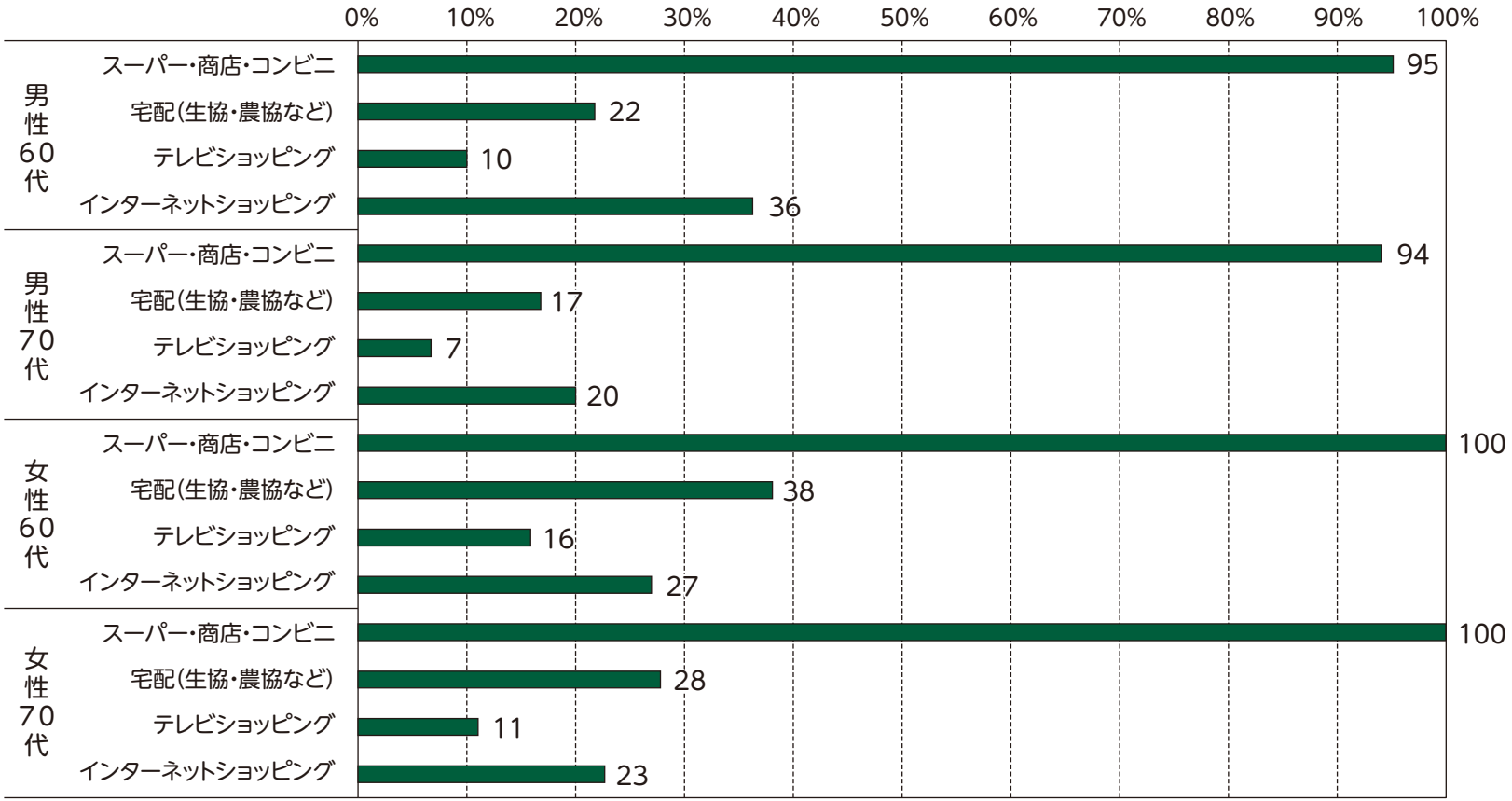


出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節
資料6-18

利用する店舗と頻度[性年代別](単一回答)

- 「インターネットショッピング」は60代男性が比較的多く利用(36%)。
- 「宅配(生協・農協など)」は60代女性が比較的多く利用(38%)。



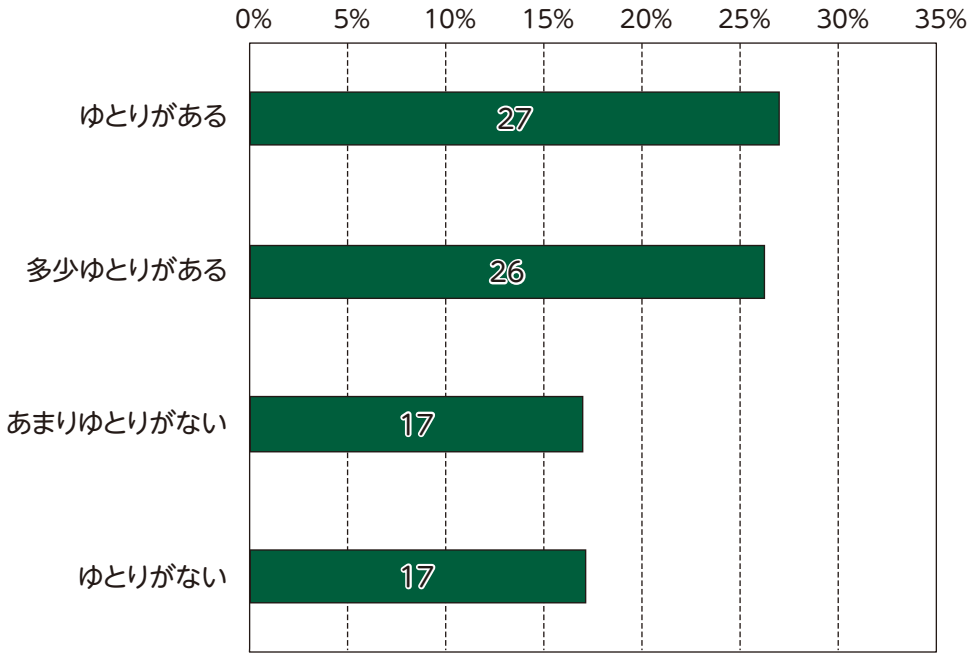
出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節
資料6-19

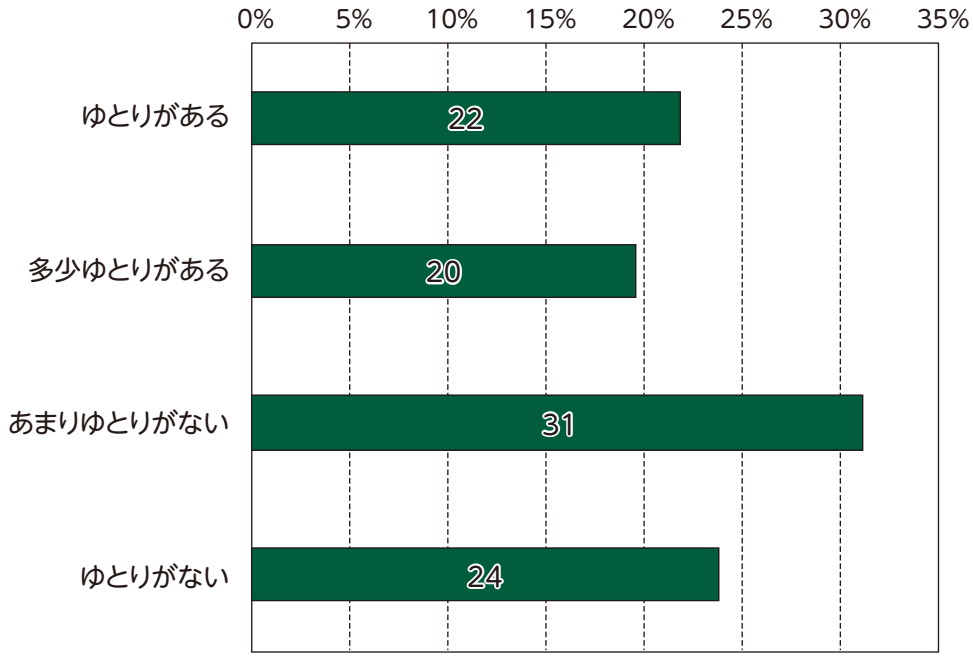
インターネットショッピング利用と経済的・時間的ゆとりの関係(単一回答)

● 経済的ゆとりがあり，時間的ゆとりがない層がインターネットショッピングをより利用している。

経済的ゆとり



時間的ゆとり

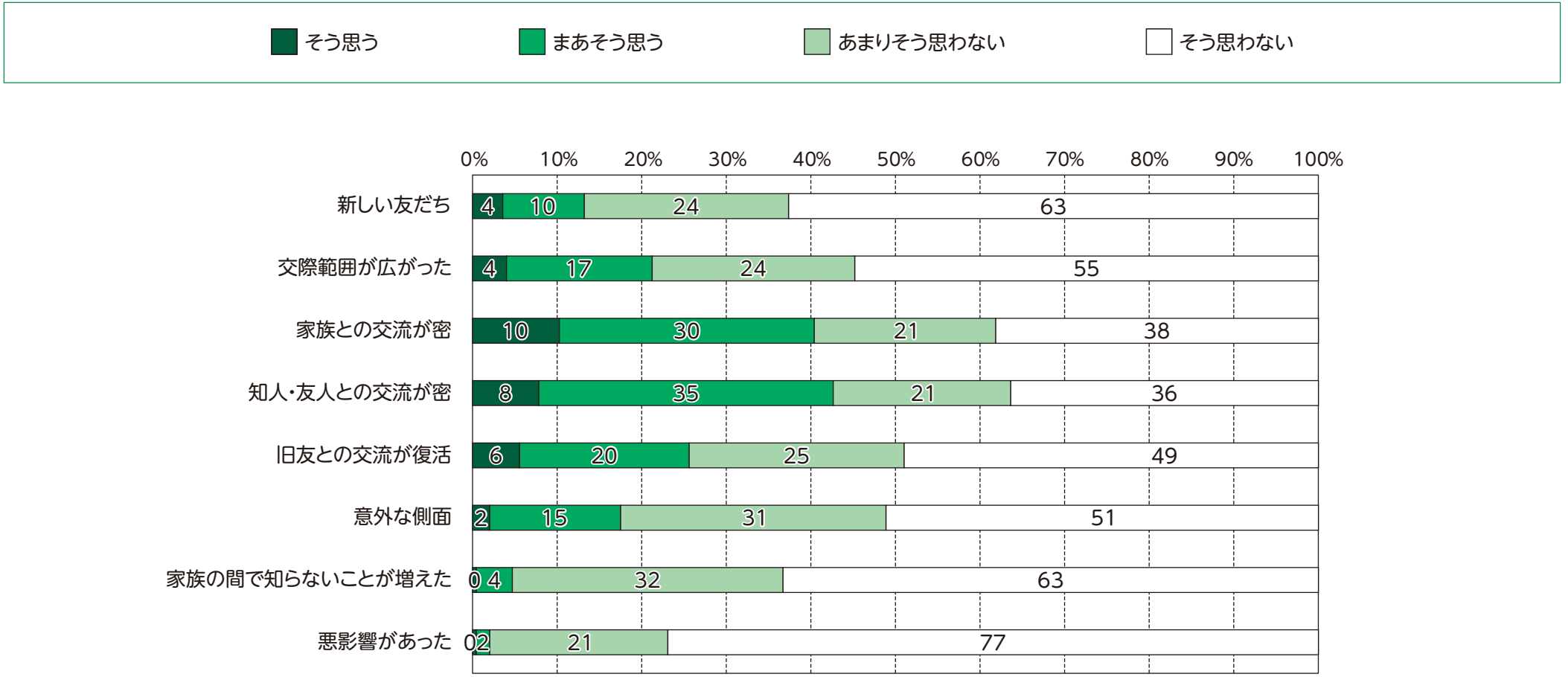


出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)

6章3節
資料6-20

スマホ・ケータイを利用しての人とのつながり(単一回答)

● スマホ・ケータイを利用しているシニアが「家族との交流が密になった」「知人・友人との交流が密になった」と回答した割合は4割を超えた。



出典: 2021年一般向けモバイル動向調査(訪問留置)